

# コンプライアンス・公正な競争

## ミッション

### コンプライアンスと誠実さにより卓越した存在になる

**私たちは、倫理的に意思決定し、業務全般で責任ある事業活動を実行することによって、全てのステークホルダーの皆様と信頼を築きます。**

ブリヂストングループは、企業理念の使命である「最高の品質で社会に貢献」のもと、コンプライアンスと誠実さへの取り組みを、全ての事業活動に反映しています。コンプライアンスと誠実さへの取り組みの基礎となるグループ共通の「行動規範」は、世界中の従業員やお取引先様などにとって、汚職防止、独占禁止、利益相反、寄付や政治献金といった、幅広いコンプライアンス上の問題に対処する上での実践的な指針となるものです。

当社グループは、2018年に「行動規範」を発行し、「コンプライアンスは経営層や従業員一人ひとりが担うもの」であるということについて、確実な理解を浸透させる取り組みを2019年も継続しました。また、お取引先様に対しても、「行動規範」を踏まえてお取引先様をお願いしたい事項をご理解いただくための取り組みを継続しました。

当社グループでは、「行動規範」を用いて、下記の様々な手段でコンプライアンスの強化を図っています。

- コンプライアンスの徹底にあたり、教育訓練と従業員の主体的な関与は不可欠です。こうした取り組みは経営トップから始まるものであり、各部署の責任者はコンプライアンスの重要性について日頃より言及するとともに、コンプライアンス研修や啓発プログラムにおいて積極的な役割を果たしています。それによって、「行動規範」を常に念頭に置き、何かおかしいと思ったことに自然と声があがるように、「Speak Up(声をあげよう)」風土の醸成を図っています。

- 「行動規範」及び「グローバル人権方針」に関するeラーニングをグローバルで定期的実施し、2019年は対象となる従業員の89.5%にあたる約49,000人が受講しました。
- 従業員に対して、コンプライアンスや社内ルールに関する質問や懸念がある場合には、「Bridgeline」\*1を含む「行動規範」に記載されている複数の相談先のいずれかに連絡するよう促しています。
- コンプライアンス・リスク評価を導入し、リスクを事前に特定することで、その低減を図っています。また、各地域でのリスクの自己評価を容易にするため、第三者に対するスクリーニングを行うためのツールを導入しました。

\*1: Web上または電話で通報することができるホットラインの名称

当社グループは、グローバルに事業を展開する中で多種多様なリスクを想定する必要があります。その中でも、贈収賄防止は、グローバルでのコンプライアンスの取り組みにおいても、各地域のコンプライアンス教育の取り組みにおいても、中心的な課題となります。当社グループは、2020年中に「行動規範」に基づく「グローバル贈収賄防止ポリシー」を発行する予定です。また、現在は「行動規範」に含まれるガイダンスや要求事項に加え、地域ごとに独占禁止法に関するルールが整備されていますが、2020年中に各地域別のルールを統合した「グローバルカルテル防止ポリシー」を策定し、2021年に展開する予定です。

詳しくは、Webサイトをご覧ください。

[https://www.bridgestone.co.jp/csr/compliance\\_fair\\_competition/index.html](https://www.bridgestone.co.jp/csr/compliance_fair_competition/index.html)

